

SDGs未来都市等進捗評価シート

2021年度選定

東京都江戸川区

2022年9月

SDGs未来都市計画名

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

江戸川区 SDGs未来都市計画
海拔ゼロメートルのまち江戸川区を目指す
「SDGs = 共生社会」先進都市

—

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

江戸川区SDGs未来都市計画 海抜ゼロメートルのまち江戸川区が目指す「SDGs = 共生社会」先進都市

(2) 2030年のあるべき姿

本区は、「SDGs = 共生社会」と捉えており、この実現に向けた先進的な都市モデルを実現する。

- ・災害があっても誰一人取り残さないまち：自助・共助・公助のもと全区民が水害対策に取り組むまちの実現
- ・魅力あるまち：まちの魅力が理解され定住人口の増加、多くの人が訪れるまちの実現
- ・新たな時代に即した産業のあるまち：多様な企業価値が創造され新たな時代に即した 産業のあるまちの実現
- ・多様性の中で「共生社会」が実現されているまち：安心して暮らせる「ともに生きるまち」の実現

(3) 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール



(4) 2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況

No	指標名 ※【】内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
1	民間との協働プロジェクトによる経済波及効果（累計） 【9.5, 9.b, 17.13】	2020年 0 円	2021年 4.27 億円	2030年 10 億円	43%
2	社会課題解決のため、区と連携協定を締結する企業・団体数 【9.4, 12.4, 17.6, 17.17】	2020年 131 件	2022年 144 件	2030年 200 件	19%
3	えどがわSDGsパートナー企業登録制度登録企業数 【17.17, 8.3】	2020年 0 社	2021年 0 社	2030年 3,000 社	0%
4	えどがわSDGsリーダー企業認証制度認証企業数 【17.17, 9.6】	2020年 0 社	2021年 0 社	2030年 50 社	0%
5	「なごみの家（地域共生社会構築の拠点）」設置数 【10.2, 16.7】	2020年 9 か所	2021年 9 か所	2030年 15 か所	0%
6	ボランティア・プラットフォーム登録人数（累計） 【16.7, 17.9, 17.16】	2020年 0 人	2021年 0 人	2030年 100,000 人	0%
7	区への親近感や愛着を感じている区民の割合（区民世論調査） 【11.3, 11.7, 17.17】	2020年 88 %	2021年 88.2 %	2030年 93 %	4%
8	区内の温室効果ガス排出量 【13.2】	2017年 2,237 千トン	2019年 2,109 千トン	2030年 1,503 千トン	17%
9	葛西海浜公園海水浴場利用者数 【14.7】	2019年 49,470 人	2021年 13,404 人	2030年 70,000 人	-176%
10	区民一人あたりの樹木数 【11.7, 15.2】	2020年 9.65 本	2021年 10.3 本	2030年 10 本	186%

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
11	区民一人あたりの公園面積 【11.7,15.2】	2020年 8.81 m ²	2021年 11.29 m ²	2030年 9.12 m ²	800%
12	大規模水害時の避難態勢の構築 【11.5,11.b, 17.16】	2020年 0.0 %	2021年 33 %	2030年 100 %	33%

(5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

・「No.3 えどがわSDGsパートナー企業登録制度登録企業数」・「No.4 えどがわSDGsリーダー企業認証制度認証企業数」については、先行している自治体の取組状況等も踏まえ、制度構築について、引き続き検討している。

・「No.9 葛西海浜公園海水浴場利用者数」については、2021年7月は東京オリンピックのため7月25日～30日の期間を海水浴場休止とし、8月は新型コロナの影響で2日間に限定した海水浴体験を実施したため、利用者数は通年より大幅減となった。

・「No.6 ボランティア・プラットフォーム登録人数」については、令和5年度10月にSDGsアプリを構築予定であり、本アプリの開設に合わせボランティアプラットフォームを構築予定。

・「ステークホルダーとの連携」においては、令和3年10月にラグビートップリーグに属するクボタスピアーズと「SDGs推進に係る連携と協力に関する協定（包括連携協定）」を締結。今年度、江戸川区陸上競技場で行われた全試合を「SDGsマッチ」と位置付け、新たなステークホルダーを創出する機会となっている。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)
1	①水害があっても誰一人取り残さないまち	避難計画が策定されている災害時避難行動要支援者数	2021年 1,400 人	2021年 360 人			2023年 5,000 人	26%
2	①水害があっても誰一人取り残さないまち	災害発生時の支援活動への参加意向（区民世論調査）	2021年 12.4 %	2021年 データなし %			2023年 50 %	-
3	②自然と都市が共存する魅力あるまち	葛西海浜公園海水浴場利用者数	2019年 49,470 人	2021年 ##### 人			2023年 55,000 人	-652%
4	②自然と都市が共存する魅力あるまち	区内で行われたロケーション撮影の件数	2019年 260 件	2021年 295 件			2023年 500 件	15%
5	③新たな時代に求められる産業が生まれるまち	デジタル技術導入助成制度活用企業数	2021年 6 社	2021年 2 社			2023年 15 社	-44%
6	③新たな時代に求められる産業が生まれるまち	デジタルコンサルティング補助事業活用企業数	2021年 0 社	2021年 0 社			2023年 15 社	0%
7	③新たな時代に求められる産業が生まれるまち	えどがわSDGsパートナー企業に対する融資支援制度活用企業数	2021年 0 社	2021年 1 社			2023年 100 社	1%
8	④多様性を尊重し共生社会が実現しているまち	障害者のスポーツ実施率	2021年 31.4 %	2021年 データなし %			2023年 34.5 %	-
9	④多様性を尊重し共生社会が実現しているまち	みんなの就労センター登録者数	2021年 0 人	2021年 169 人			2023年 240 人	70%

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)
10	④多様性を尊重し共生社会が実現しているまち	外国人との交流に関する地域活動への参加意向（区民世論調査）	2020年 12.6 %	2021年 データなし %			2023年 20 %	-

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

・「えどがわSDGsパートナー企業登録制度登録企業数」・「えどがわSDGsリーダー企業認証制度認証企業数」については、先行している自治体の取組状況等も踏まえ、制度構築について、引き続き検討している。（再掲）

・令和3年度は「SDGsを知る・理解する」1年と位置づけ、様々な取り組みを実施した。その結果、令和3年度世論調査におけるSDGsの認知率は、「SDGsの内容まで知っている」45.0%（前年比21.7ポイント増）、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」35%（前年比9.9ポイント増）、「全く知らない」18.5%（前年比30.9ポイント減少）となった。

・令和5年度10月にSDGsアプリを始動させ、SDGsの行動に対しポイント付与することで区民のSDGsの行動を可視化するとともに、地域企業なども連携しポイントが活用できるような仕組みづくりを進めていく予定。

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

・「No.1 避難計画が策定されている災害時避難行動要支援者数」については、対象者約5,000人のうち、障害区分や介護度等を考慮し、避難の優先度の高い区民、1,400人に対して福祉避難所を指定。指定した1,400人に対して個別避難計画書の作成依頼をおこない、令和4年3月現在、360人が計画を策定した。

・「No.3 葛西海浜公園海水浴場利用者数」については、2021年7月は東京オリンピックのため7月25日～30日の期間を海水浴場休止とし、8月は新型コロナの影響で2日間に限定した海水浴体験を実施したため、利用者数は通年より大幅減となった。（再掲）

・「No.5 デジタル技術導入助成制度活用企業数」・「No.6 デジタルコンサルティング補助事業活用企業数」については、主管部署にて事業者の募集をおこなったが、デジタルコンサルティング補助事業についての事業者からの申し込みはなかった。引き続き、助成制度の周知を強化（区ホームページ・SNS・ポスター・チラシ）していくこととする。

・「SDGsパートナー企業登録制度」や「SDGsリーダー企業認証制度」については、先行している自治体の取組状況等も踏まえ、制度構築について、引き続き検討している。（再掲）

なお、パートナー企業ではないが、企業からの確認申出が6事業者あり、そのうち1事業者が、融資支援制度を活用した。

・「（仮称）江戸川区角野栄子児童文学館」を2023年11月の開設に向け工事を実施中。建設予定地のすぐ横には、区の目指す共生社会（SDGs）の象徴として「ブイロクの木（寄贈）」を植樹した。

(4) 有識者からの取組に対する評価

・この期間でもイベントを数多くできており評価できる。今後はイベントの点を線に、そして面に広げていただくことを期待する。

・「SDG=共生社会」という構想が、SDGsの取組として十分に具体化されていないように見受けられるため、取組の深化を期待する。